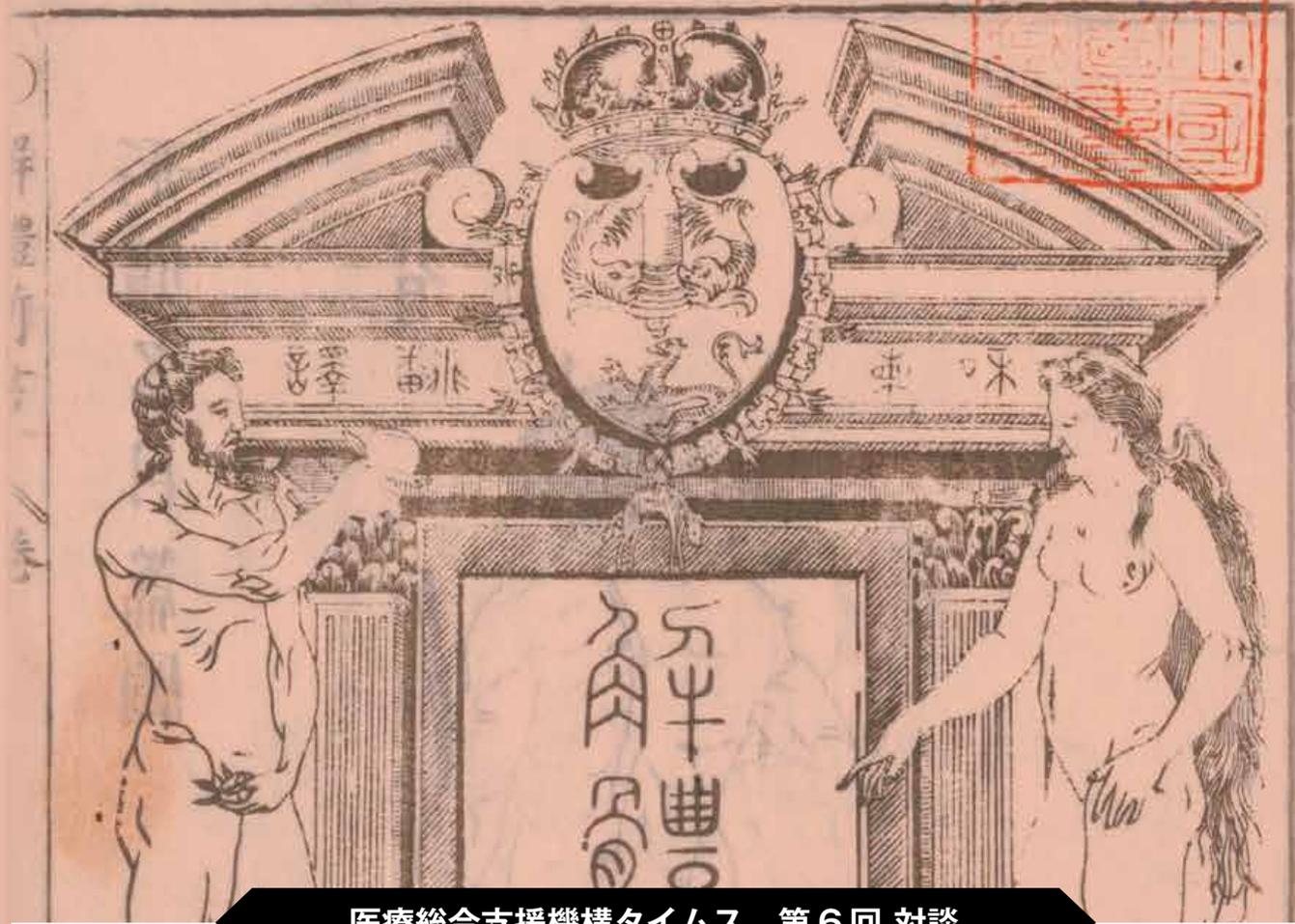


# 医療総合支援機構タイムス

発行：医療総合支援機構 / 〒502-0082 岐阜県岐阜市長良東2-37 RSDビル3階 北号室 電話 080-2658-4749



## 医療総合支援機構タイムス 第6回 対談

### 働き方改革と医療安全



一般社団法人医療総合支援機構  
代表理事

**小倉 真治**  
Shinji Ogura

岐阜大学医学部附属病院  
医療安全管理室長

**熊田 恵介**  
Keisuke Kumada

## 働き方改革と医療安全

## ゲスト

一般社団法人医療総合支援機構

代表理事

小倉 真治

岐阜大学医学部附属病院

医療安全管理室長

熊田 恵介

(仮) 医療現場における  
現状と働き方改革の流れ

**熊田** 昨今の働き方改革は、医療現場でも叫ばれるようになってきました。

**小倉** 若い頃、救急医は週100時間労働というのが普通の状態でした。2016年から17年にかけて、救急医学会働き方改革特別委員会で担当理事をしていましたが、その委員会で、国内の病院で、1カ月の最長労働時間が週400時間に上ったという報告がありました。近年の状況でも通常は約300時間ですから、その状態がいかに「異常である」ということは明らかでしたが、病院側が気づいていないために、医師が辞めていくという状況に陥っていました。

**熊田** どのように議論を進められたのですか。

**小倉** 当時は岐阜大学医学部附属病院長という立場でもありましたから、「働き方改革は現場に何をもちたらずのか」という視点から真剣に考えました。そこで、「人を助けるためには、自分が健康でなければならない」というキャッチコピーを採択しました。

しかし、働き方改革そのものに対して、委員会の中では「何のために救急医療をやっているのか」「実行したら救急医療の質が落ちるんじゃないか」という意見が結構出ました。そこが救急医療における働き方改革の議論の始まりだったと認識しています。

**熊田** 実際のところ、医療現場での労働時間は減少していませんか。

**小倉** 多くの現場で、働き方の実態は変わっていません。企業は、どうやって会社を持続させるかとい

うことを考えていますが、医療現場も持続的に医療サービスを提供するために、働き方改革を実施するという考えにたどり着いたと思われれます。何年も前から段階的に計画を立てて進めてきたら、違った道筋も見えていたかもしれませんが、現状と照らし合わせて、現在検討されている制度のあり方に目を向けると、論理的に抜け落ちている点が多くあり、今のままではサステナビリティは得られないだろうと予測しています。

**熊田** 医療の現場も理想と現実のギャップに悩まされていると感じますが。

**小倉** 極論を言えば、「交代制勤務にする」というのが最良の解決方法ですが、そうすると、医師の数を倍に増やさないとはいけません。今まで昼も夜も働いて維持できていた組織が、倍の医師がいないと保てないということに気づいていないというか、気づきたくないと思っているのではないのでしょうか。

**熊田** 世の中に目を向けても、医療現場で働き方改革が迫られているということは、意外と気づかれていないようにも感じます。

**小倉** 「もしかしたら、医療が受けられなくなるのでは」という意識は全くないと思います。

**熊田** 医療者の中にも「何とかなるのでは」と思っている人はいますからね。

仮) 医療の質は  
どのようになっていくのか？

**熊田** 働き方改革の議論でよく話題に上がるのは、

DX（デジタルトランスフォーメーション）やタスクシフトです。そして、次に出てくるのは、コロナ禍で効率的にできたので、これからも継続してできるのではという考え方です。しかし、現状としては、インターネット予約ができるクリニックでは、受付できる限度数を超えると、停止しているということがあるように、限界もあると感じています。

**小倉** まず、コロナの総括がしっかりなされていないのが問題ですが、救急医療の場合、救急車に例を挙げると、コロナ禍では、そもそも救急車が出払って配車できなかつたり、病床数や医師数などの要因により、走っているのに受け入れ先の病院が見つからなかつたりして、なかなか病院にたどり着けないということが起こりました。もし、議論なき働き方改革がこのまま進んでいき、「時間になったら帰ります」ということが日常的になれば、コロナの時と同様に、「救急車に乗っても永遠に病院にたどり着けない」という事態が起こり得ます。病院の前には診察待ちの救急車が並び、「自分で病院に向かった方が早い」という状態になっているかもしれません。実際に、イギリスの救急外来では、日常的に15台ほど救急車が病院の前に並んでいたり、ストライキが起きたりしています。いま、人手不足により、タクシーを呼んでもすぐには来なかつたり、トラックでの輸送が回らなかつたり、運輸業界で起きている事象が救急車でも起こり得るということです。

**熊田** 働き方改革による病院間の格差が広がることも懸念されます。

**小倉** ミスリードは最大の懸念材料です。例えば、医師の休暇取得や人を減らしたところに保険点数が加算されるような改革を進めれば、そのような病院は、現場から極力医師を外し、手薄い人数で診療することになります。そうすると、保険点数は上がるものの、リスクは相当上がるのではないかと思量いたします。医師の労働時間をターゲットにして、何を追求していくのか、踏み込んだ議論が必要だと思っています。

**熊田** カンファレンスに参加していても、医療従事者自体の質の低下も危惧していますが、いかがですか？

**小倉** 私も感じています。なぜかという、やはり、



現場での症例の経験を重ねる時間に大きな開きがあるからではないかと思います。現在の若手医師では、私たちが経験した時間の半分以下かもしれません。やはり、症例数の経験値と医療の質は比例すると思います。

**熊田** 知識はあると思いますが、全ての経験が薄くなってきていると言えますね。

**小倉** 裏を返せば、現場を知らないから、異変に気付かないとも言えます。働き方改革で、労働時間が減れば減るほど、質が下がっていくことを心配しています。また、少なくとも、同じくらの質の医師が3人いて考えることと、5人で考えること、ましてや1人だけで考えることは全然違う結果になります。スーパースターであれば、1人でもその質を上げられるかもしれませんが、現実的には、多くの人数で議論した方が、アイデアも浮かび、ミスも減ってくると思われます。逆に、孤立した環境で決定をせざるを得ないと、過ちは起こりやすいと言えます。気楽に相談できる環境があることによって、カバーできることも多々あるので、そういう意味でも、人材の確保はとても重要であると考えています。

仮) 改革による  
医療の「安全」と「質」は？

**小倉** 熊田先生は長年、救急現場を経験され、現在は岐阜大学医学部附属病院の医療安全管理室長とい

う立場から、医療における「安全」と「質」について、どのように捉えていますか。

**熊田** 医療技術が高く安全であるのが理想な状況なのは明らかです。医療技術の水準が低いのが最も危険な状態ですが、おそらくこれからはダ・ヴィンチや新薬で保たれ、底上げができるのではと想定しています。安全については、さまざまな定義がありますが、最後の最後まで死守すべきであると認識しています。多くの医療従事者に聞いてみても同様の声が聞かれます。一方で、安全を守ろうとすると、どうしても犠牲にならざるを得ないかもしれないと感じているのが、「公平性」「効率性・利便性」です。多くの医師がそのような認識を持っています。

**小倉** 水準が上がったとしても、意識が低い医療者もいるので、今後、相対的にそのような医師が増えることが想定され、懸念されます。

### (仮) 理想の救急医療体制とは

**熊田** 理想の医療体制を築くにはどのような観点が必要であるとお考えですか。

**小倉** 「理想的な労働時間を守って理想的な医療の水準を守る」というのを実現するためには、どれだけ人数がいるのかということから逆算して、少なくともその領域に医師の数はこれだけいなければなら



ないという制度にすることが必要条件だと考えます。アメリカの医療局の中には、玄関に「『質の高い医療』と『安い医療』と、いつでも病院にかかることができるという『フリーアクセス』の3つは絶対に両立しない」と宣言しているところがあるほどです。しかし、日本の場合は、概ねその3つを守ってきています。それは、医師が他の国の倍以上働いているからです。さらに言えば、医師の数はOECD（経済協力開発機構）の中で最も少ないという現実があるのにもかかわらずです。現状としては、救急医療を看板に掲げているような病院、ましてや救命救急センターは、医療の質を守るために補助金がついたり、保険点数がついたりしています。働き方改革と医療の質を保つということを両立していくためには、例えば、そのような病院については、「一定数以上の医師を置かなければならない」ということを定義づけることが必要ではないかと考えています。これから岐阜県の救命救急センターのあり方を検討しているところですので。

**熊田** 岐阜大学医学部附属病院高次救命治療センターの体制をどのように築かれたのですか。

**小倉** 高次救命治療センターが開設されて2023年10月に丸20年を迎えました。今思い起こせば、岐阜大学の教授に就任するのが決まった時のエピソードがあります。センターの立ち上げに際して、当時の病院長に呼ばれました。「救急医療を形だけではなく、真面目にやろうとしたら、何人のスタッフがいるのか」と聞かれ、「30人」と答えました。前任地の香川医科大学（現・香川大学医学部）では、18人でチームを組んでいました。24時間365日、全ての時間帯に人を置くためには、6チームはいると考えていたからです。1チーム3人で構成すると18人になります。ルーティンワークの業務をこなすためには何とか回り、1年以上は持ちましたが、救急は緊急手術も伴いますから、そうすると、ルーティン業務の上に緊急手術が加わり、自宅で寝ている医師を起さざるを得なくなり、徐々にみんなが疲弊していくという流れになっていきました。そのような現実を踏まえると、18人では不足、少なくとも1チーム5人はいると考え、少し余裕を持たせて30人という結論に至りました。それらの経緯や理由を説明したところ、

「それなら長持ちするか」と言われて、「はい」と答えて、当時としては画期的な30人態勢を整えてくれました。さらに、人材をしっかり確保できるようにポストもつけてくれたので、20年以上、安定した救急医療体制を継続できたと思っています。安定して行うということは、その間もスタッフの経験値は自然に上昇し、チーム力も向上していきます。しかし、人数の不足による労働環境の不備が続くと、人数も減っていき、チームの力は落ち、不安定なチーム状態になってしまいます。皮肉なことに、人数が減ると忙しくなり、疲れて果てて辞めていき、ますます減っていくという負のスパイラルに陥っていきます。『優秀なプレーヤーは、なぜ優秀なマネージャーになれないのか？』（出版社クロスメディア・パブリッシング）の著者である柴田励司さんは、本の中で、「集団皿回し」を説いています。「1人が落とした瞬間、みんなが落とす」という法則です。そうならない人数が、岐阜大学病院のような最後の砦としての役割を持つ病院で30人です。今は人員が少なくなるどころか、さらに増えつつあるので、これは正しかったと思っています。実際、研究する余裕も生まれ、育休を取得することも可能です。現在も男性医師が2人同時に育休を取っているのが、医療の質と人材をしっかり保ちながら、救急医療体制を持続可能にしていると言えます。

**熊田** 医療でも先んじて働き方改革をされて育て、1つのロールモデルがすでにできていますね。

### (仮) 持続可能な救急医療の実現のカギは「人材」

**熊田** これからAIが発達したとしても、職人の技はそのまま伝承できないというイメージがあります。医療現場や医療従事者は世の中と乖離した状況があり、また、救急医療は最も非効率ともいえる現場で、取り残されるところも危惧されますが、そうならないためにも物事を冷静に考え、意識を高めることが大事ですね。

**小倉** 「DXやタスクシェアをすれば、人を増やさなくても業務を遂行できる」という幻想を抱いている人が多く見受けられますが、医療現場のように労働



力集約型産業、特に救急医療現場では、決して100%は補えませんから、やはり人は必要です。労働時間について制度を変えていくのであれば、当然、医師の数を増やさないと、今までの質の医療は保てないことは明白です。せっかく医療の質が底上げできているにもかかわらず、しっかりした議論がないまま働き方改革が進められていくことにより、密度が減り、再び質が低下することを恐れています。そのことは、医療安全的にリスクを高めることにつながりかねません。今後、具体的にどのような政策を打っていかなければならないかを考える必要がありますが、いずれにせよ、密度が明確に減るような領域、つまり物理的に必要な場所には人を分配しないといけません。それをしない限り、働き方改革というのは、お為ごかしの幻想にしかならないと感じています。



## ＋ 医療会員紹介 医療総合支援機構に加盟の会員の皆様をご紹介します

### 石木クリニック

院長 石木 佳英 先生

私は、患者さんのニーズにこたえられるような診療をしていきたいと思っています。

その中でも特に、内視鏡診療をメインにおこなっており、胃や食道などの上部内視鏡検査は月におよそ120件、大腸内視鏡検査は30件行っています。在宅患者さんも現在15名ほどの担当しており、在宅での看取りも行っております。他にも禁煙治療、睡眠時の無呼吸症候群の簡易的な検査、AGA「男性型脱毛症」の診療も行っており、あらゆるニーズにお応えできるよう取り組んでいます。

「オンライン診療」ではなく、しっかりと対面で話し、聴診器をあてたり、お腹を触ったりと、患者さんの状態を判断し、そのうえで必要に応じて検査を行っています。

患者さんにいい医療を提供するためには、職員が楽しく仕事をしていなければなりません。年一度は2泊で職員旅行へいきます。春、夏、秋には1日休診日にして遠足にいきます。

職員一緒になって「一生懸命働き、一生懸命遊ぶ」をモットーに日々頑張っています。



◆石木クリニック  
所在地／関市西本郷通3-7-41  
電話／0575-23-7455  
F A X／0575-23-7455  
診療時間／9:00～12:30、15:30～18:30  
休診日／木曜日、土曜日午後  
日曜日、祝祭日

### おおのレディースクリニック

院長 大野 元 先生

モットーは「一日ひとり、不妊治療にて人口を増やしたい」

当院では、できるだけ早く、身体に優しい治療で妊娠することを最優先しています。

そのため、一般的な「ステップアップ治療」は行っていません。「必要以上の検査」も行っていません。きちんと排卵があるのに、排卵誘発剤を使う意味はあるのでしょうか?これらを考慮しないで、教科書的に、漠然とステップ治療をすることで、無駄に時間を費やしてはいませんか?

より早くママになるために何をすべきか?妊娠できないことに対する苦悩をいかに早く取り除くことができるか?私たちは、患者さまの希望を優先しながら、最も高い治療を、できる限り軽減して提供しています。

当院の診察券を見てください。休診がありません。排卵はお産と同じように、いつ起こるかわかりません。それを考えると休んでいられます。

岐阜周辺の人口を増やしたい。私たちは常に患者さまの幸福だけを願っています。



◆おおのレディースクリニック  
所在地／岐阜市光町1-44  
電話／058-233-0201  
F A X／058-232-7148  
診療時間／9:30～12:30  
16:00～19:00  
休診日／土曜日、日曜日午後

### おおすきクリニック

院長 大漣 祐己 先生

2023年5月1日に開院し「総合診療所」として小さなお子さんから高齢の方まで地域に根ざしたかかりつけ医として、皆さんが健康で笑顔になれる医療を提供します。総合医療の窓口として小さな病気から大きな病気で、早期発見・早期治療・予防医療の役割を担うクリニックです。何科を受診していいかわからない場合や少しでも不調に感じることがあればいつでも気軽にご相談下さい。どんな疾患でも戻込みするような症例でさえ逃げることなく治療します(診療割合／総合内科4、集中治療4、救急2)。今後の目標としては、診療看護師を採用し、治療対応の拡大を目指していきたいと考えています。大学院で学ばなくても当院で勉強できるよう、診察室を設け、教育できる環境づくりにも力を入れてきたいと思えます。そして一人一人の疾患や背景にあわせて、一緒になって方針を考え、治療を行っていきたく思います。



◆おおすきクリニック  
所在地／一宮市今伊勢町馬寄字北塚本1-1  
電話／0586-82-8232  
診療時間／9:00～12:00、16:00～19:00  
休診日／木曜日午後、土曜日午後  
日曜日、祝祭日

### 梶の木内科医院

院長 梶 尚志 先生

地域の皆さま、スタッフ、その家族に対して一生のパートナーとして、寄り添う覚悟で診療にあたっています。

梶の木内科の理念は、社会貢献と人材育成です。共に働く医師や医療従事者、事務職員を「人材」として育てていきたいと思っております。感謝の気持ちや喜びを共有することにスタッフのモチベーションがあり、それを他人へ広げることに喜びを感じているような人材です。

スタッフの教育には力を入れています。診療の合間に、「仕事の目標・目的を持つことが大事である」ということを指導しますが、一緒にWebセミナー受講をしたりして、共に成長しつづけることが地域貢献、他者貢献へとつながっていると思えます。当院の特徴として、内科疾患に限らず、アレルギーや皮膚科領域など「身近にあって何でも相談ののってくれる総合的医療」を心がけています。

また、お子さんからお年寄りまですべてサポートできるよう、梶の木保育園(認可保育園開設)を立ち上げ、在宅医療に力を入れています。当院では、病だけをみるのではなく、病人だ人そのものに向き合う「心のケア」の取り組みもおこなっておりますので、少しでも気になることがありましたら、気軽に越越しいただき、ご相談下さい。



◆医療法人梶の木会 梶の木内科医院  
所在地／可児市川合2340-1  
電話／0574-60-3222  
診療時間／9:00～12:00、15:00～19:00  
(※土曜日のみ13時まで)  
休診日／木曜日、土曜日午後  
日曜日、祝祭日

## ＋ 医療会員紹介 医療総合支援機構に加盟の会員の皆様をご紹介します

### かとう耳鼻咽喉科サージクリニック

院長 加藤 雅也 先生

大学病院勤務医時代の経験を活かし、特に手術を含めて質の高い医療を提供していきたいと思っています。

広範囲な耳鼻咽喉科疾患に対応できる医療施設であり、これまで中耳炎手術を中心に取り組んできた経験から、手術はもちろんのこと、可能な限りここで完結できるような治療を努めています。それだけではなく、幼少期から岐阜で過ごしてきた人的ネットワークから、近隣の病院との深いつながりをもつことで、より良い医療が行えるよう心がけています。

耳鼻咽喉科疾患のみならず、困ったことやご相談がありましたら、気軽に当院へ足を運んでください。

#### 【得意とする疾患】

- 中耳炎、アレルギー性鼻炎、花粉症、蓄膿症(慢性副鼻腔炎)、鼻出血、めまい、難聴、睡眠時無呼吸症候群など
- アレルギー性鼻炎に対するレーザー治療可能
- 耳鼻咽喉科(耳・鼻・のど)の病気全般
- 画像ファイリングソフトを導入、顕微鏡やファイバースコープ(耳・鼻・咽・喉頭の画像)所見、デジタルレントゲン、各種聴力検査などを供覧



◆かとう耳鼻咽喉科サージクリニック  
所在地／各務原市蘇原花園町1-57-1  
電話／058-389-8733  
F A X／058-389-0404  
診療時間／9:00～12:00、16:00～19:00  
休診日／水曜日、土曜日午後  
日曜日、祝祭日

### さくらクリニック

院長 佐竹 真一 先生

当院は、胃・大腸の内視鏡検査がセールスポイントであり、同日に両検査を実施することができるのも魅力の一つです。大腸内視鏡検査では、下剤を飲んだ後の待ち時間を個室で過ごすことができます。個室は全4部屋あり、トイレやテレビ、ソファ等も完備されており映画鑑賞もできます。なるべくリラックスして患者さんの緊張を和らげる空間づくりを心掛けています。先進医療機器の導入・検査を行うことで、早期に小さな病変を発見することができます。他にもエコーやCTなどの導入により高いレベルで検査を行うことができます。

専門分野だけではなく、風邪などの内科や小児科など、幅広い診療に対応しておりますので、まずは気軽にご予約・ご連絡いただければと思います。



◆さくらクリニック  
所在地／瑞穂市稲里689-3  
電話／058-325-0570  
診療時間／9:00～12:00  
16:00～19:00  
休診日／木曜日午後、日曜日、祝日

### 岐阜清流病院

理事長 名和 隆英 先生

「笑顔で生きて、笑顔で死にたい」  
大多数の方の願いではないでしょうか。清光会は地域の皆様のそんな願いが叶うよう、ありったけの努力、心遣いをします。

急な病気にかかってしまった時、病気はよくなったけど動けなくなってしまった時、ご相談下さい。元気になっていただけるよう全力を尽くします。高齢のご家族の方が弱ってきたと感じられた時、弱られた時、ご相談下さい。ご本人とご家族の希望が叶うようサポートをさせていただきます。

最期を迎えられる時、ご相談下さい。一生で大切な時間をより良く過ごしていただけるよう、寄り添います。医療・介護を通じ、地域の皆様に「笑顔あふれる暮らしをお届けします。」これが清光会の理念です。

皆様に笑顔になっていただける、気軽に使っていただける、地域に根差した法人でありたいと思います。

何卒、よろしく願い申し上げます。



◆社会医療法人 清光会 岐阜清流病院  
所在地／岐阜市川部3-25  
電話／058-239-8111  
F A X／058-239-8216  
診療時間／9:00～17:00  
9:00～12:00(土曜日)  
休診日／土曜日午後、日曜日、祝祭日、年末年始

### 白井病院(眼科専門病院)

(右)理事長 白井 義人 先生 (左)病院長 宇野 俊彦 先生

病院の財産である「人」を一番大切にしています。

「人」に関しては定数にとらわれず、当院にとって必要とする人材であれば定数を超えて積極的に採用しています。業務のパフォーマンスを上げるためには、一人ひとりに余裕がないと質の高い仕事をしたり、良好な人間関係を築き上げたりすることが難しくなります。

また、人材育成には特に力を入れており、中途採用であってもチューター制度を取り入れ、当院の業務にフィットするまでバックアップしていきます。

眼科専門病院として、職員全員には眼科医療に携わるプロとして活躍して欲しいという思いで医師や医療従事者だけでなく、事務職員にも学会や研修等に積極的に参加してもらっています。

そして「医療機器」「外部医療機関」に対しては、既成概念を捨て、法人独自の考え方を持っています。最新の検査機器や手術機器を導入することで最良の医療を提供していますし、大学医局の枠にとらわれず、さまざまな専門医が勤務しており、眼科疾患のほとんどは当院で完結することができます。

これからも、患者さんに「来てよかったあ」と言ってもらえるよう「満足のいく医療」を提供できるよう心がけていきたいと思っています。



◆医療法人名世社 白井病院(眼科専門病院)  
所在地／香川県三豊市高瀬町上高瀬1339  
電話／0875-72-3131  
F A X／0875-72-3134  
診療時間／8:30～12:00  
14:00～16:00(土曜日17:00)  
休診日／日曜日・年末年始

## 医療会員紹介 医療総合支援機構に加盟の会員の皆様をご紹介します

### 正翔会クリニック 江南

理事長 兼 江南院長 長尾 強志 先生



正翔会クリニックは2015年12月に在宅医療を開業し、現在は6か所の事業所を展開しています。在宅医療をはじめたきっかけは、ある入院患者さん、そのご家族との出会いからでした。退院後は「自宅で療養をしたい」と在宅医療を希望されている方が、まだひとりでも生活をしていくには不安があり、日々の生活を支援する医療従事者のサポートが必要でした。そこで家族の代わりになるような、まるで自宅が病院であるかのようなクリニックがあればと思い、この事業所を作る決意をしました。日常の不安を可能な限り取り除くことを第一に考え24時間365日いつでもご自宅に訪問し、患者さんの健康状態や心のケアを誰よりも理解できるような、家族以上の医療従事者を目指していきたいと思っています。また、今後も必要に応じて連携病院や開放病床を利用して迅速な急性期医療を提供できるよう努めていきたいと思っています。

～私はこれからも関わるすべての方を“仲間”だと思っています～

### 東海中央病院

病院長 松井 春雄 先生



当院は公立学校共済組合の職域病院として設立されましたが、その後、地域住民の方々にも開かれた病院として、現在では、職域の健康管理を担うとともに、各務原市及びその周辺地域において、実質的に市民病院の役割を果たす中核的な公的病院です。

その責任上、経営上不利とされる不採算部門も含めて地域医療に貢献しています。

医療は公共財であるために効率の良い経営が必要ですが、同時に単純な利益至上主義にならないように努力しています。

将来は地域に貢献するために地域枠の医師が活躍できる場を整備したいと考えています。

2011年3月に新病院を開設し、これからが大きな飛躍の時期にあたります。今後も、地域の医療・介護・福祉のコミュニティに密着した親しみのある病院を目指し、日々努めて参ります。

◆正翔会クリニック 江南  
所在地／江南市飛高町栄272番地  
電話／0587-81-8126  
診療時間／訪問診療 8:00～12:00  
13:00～15:00  
外来診療 15:00～17:00  
休診日／水曜日、土曜日外来、日曜日

◆東海中央病院  
所在地／各務原市蘇原東島町4-6-2  
電話／058-382-3101  
診療時間／8:30～11:30  
休診日／土曜日、日曜日  
祝祭日、年末年始

### 独立行政法人国立病院機構 長良医療センター

院長 松久 卓 先生



当院は、2005年3月に国立療養所岐阜病院と国立療養所長良病院の2病院が統合し誕生しました。主に筋ジストロフィー・重症心身障害等のセーフティネット医療、結核をはじめとする呼吸器疾患、小児科疾患全般、産科周産期医療を4本柱として専門性の高い医療を提供してきました。しかし医療を取り巻く環境が大きく変わりました。 今後は従来の小児科疾患や呼吸器疾患の急性期を受け入れながら、さらに慢性期医療や終末期医療の提供についても視野に入れていきたいと考えています。

私の強い願いは2つあります。1つ目は、この病院が患者さんや職員にとって大切であり、なくてはならない存在であり続けることです。そのためには地域の皆さまと本音で話し合い、一緒になって考えることが重要です。2つ目は、職員がやりがいや誇りをもって働ける職場にすることです。本人のキャリアアップなどを積極的に応援し、援助し続けていきたいと考えています。

今後、超高齢化社会を迎える2040年を見据えて当院はどのように舵をとっていくか、当院が本当に地域の人々から必要な病院であり続けるためにどうしたらよいかを考えながら職員一同努力していきたいと思っています。

◆長良医療センター  
所在地／岐阜市長良1300-7  
電話／058-232-7755  
FAX／058-295-0077  
診療時間／8:30～11:00  
休診日／土曜日、日曜日、祝祭日  
年末年始(12月29日～1月3日)

◆まついファミリアクリニック  
所在地／岐阜市福光東3丁目9番の7  
電話／058-233-2345  
診療時間／9:00～12:00  
16:00～19:00  
休診日／土曜日、日曜日  
祝祭日、年末年始

## 医療会員紹介 医療総合支援機構に加盟の会員の皆様をご紹介します

### 松波総合病院

病院長 松波 和寿 先生



「地域に必要とされる病院へ」  
当院は2014年7月に急性期医療に特化した北館が完成し、災害時の医療体制を整えると同時に、救急・急性期医療の充足を図っています。同時に、手術室を増室することで大動脈瘤、急性心筋梗塞や脳卒中にも24時間迅速に対応できるよう、万全な体制をとっています。

ESなくしてCSなしという言葉がありますが、当院では7階全フロアを医局とし、医師全員が垣根なくコミュニケーションをとることが出来るよう、充実した居住空間を確保しています。その結果、高い専門性を有した指導医たちと若手医師がいつでも気軽に意見交換ができる研修の場にもなっています。様々な専門医と総合診療医に接することでヒト全体を診ることのできる総合医的な能力が若い医師に身につくはずだと考えています。

最近、イノベーション(技術革新)推進本部という部署を立ち上げました。地域に貢献すべく、考え方やシステムなど新しい価値観を創造し、日常業務に大きな変化をもたらす重要な部署となります。今後は、職員で決めた3か年ビジョンを実現していきたいと思っています。

【3か年ビジョン】  
●地域包括ケアシステムの要として、日本一の民間病院になる。  
●誇りを持った職場になる。  
●選ばれる病院になる。  
●全職員が志を同じくし、常に成長・変化できる組織。

◆松波総合病院  
所在地／羽島郡笠松町田代185-1  
電話／058-388-0111  
FAX／058-388-4711  
診療時間／8:00～11:30、14:00～16:30  
休診日／土曜日午後、日曜日  
祝祭日、年末年始

### 米倉胃腸科クリニック

理事長 米倉 幸人 先生／院長 米倉 悦子 先生



昭和57年に当地で開院して現在に至ります。消化器疾患(胃腸、肝臓、胆のう、すい臓など)の診断や治療を中心に、一般診療や健康診断、ワクチン接種など行っております。診察は2診察体制で行っております。このようなコロナ感染が心配される状況となってしまいましたので、なるべく院内での待ち時間の少ないように、予約制も併用し診療しております。

当院は、リスク管理、早期発見、早期治療を心掛け、基幹病院との連携をスムーズに行えるように、患者さんの病歴管理などに努めております。当院のみでは解決できないことが起きた場合には、速やかに基幹病院へ紹介し、患者さんの経過が少しでも良くなるようにと、日々診療にあたっています。また検査後の説明も、患者さんに分かりやすく、丁寧に説明することを、心掛けています。これからも、『相談できる地元のクリニック』を目指し、基幹病院や地域診療所との連携を取りながら、地域医療に貢献できるよう努力して参りたいと考えております。

今後とも宜しくお願致します。

◆米倉胃腸科クリニック  
所在地／各務原市鵜沼西町3丁目131  
電話／058-370-0781  
診療時間／9:00～12:00  
16:00～19:00  
休診日／水曜日、土曜日午後  
日曜日、祝祭日

### よしだファミリークリニック

院長 吉田 直優 先生



モットーは「人生を診療にささげる」です。  
地域に根差し、生後0歳から90歳をこえる急性期から慢性期まで、すべての患者さんの要望にこたえるという意味で「ファミリー」という名前をつけました。実際に4世代で通ってくださっている患者さんもいます。

大学救命救急センターでの経験から、消化器、外科をメインに診療しつつ、地域の救急センター的なイメージを持っています。全ての疾患の入口を守るゲートキーパーとして、また、胃がん、大腸がんなどの悪性疾患の早期発見診断を目指しています。適切な高次医療機関に患者さんを紹介することができるのも、大学時代からの友人や先輩、後輩のおかげです。

今後も地域のご家族全員に愛される医院をめざし、全力を尽くして皆様のお力になります。予防接種・人間ドック、上部消化管内視鏡検査(経鼻極細胃カメラ)による検診や、ウォーターベッド型マッサージ器など各種機器を多用したりハビリテーションも行っていますので、お身体で気になる事がございましたら、いつでもお気軽にお越しください。

◆よしだファミリークリニック  
所在地／岐阜市竜田町7-8-1  
電話／058-248-1118  
FAX／058-248-1101  
診療時間／9:00～12:00、16:00～19:00  
休診日／水曜日、土曜日午後  
日曜日、祝祭日

### 若原整形外科

副院長 若原 和彦 先生



1985年開院38年目を迎えて「安心と満足」をモットーに、地域の皆様に信頼される医療を目指し、日々診療をおこなっています。これまで岐阜大学の整形外科の医局員として、ここ10年は掛斐厚生病院や下呂温泉病院など関連病院の勤務を経て地域医療について学んできました。周辺の病院で手術をした患者さんを積極的に受け入れており、理学療法士4名をおくことで一人ひとり丁寧なリハビリを行っています。また、スポーツ障害にも力をいれており、より細部までよみとることのできる超音波検査を取り入れることで小さなお子様からご年配の方まで幅広く対応することができます。整形について困っていることがあれば、どんなにでも気軽にお越しいただければと思います。

今後も地域に密着した「患者様に信頼される医療」を目指していきたいと思っています。

◆若原整形外科  
所在地／岐阜県掛斐郡大野町黒野117-2  
電話／0585-34-3322  
診療時間／9:00～12:00  
16:00～19:00  
休診日／木曜日午後、土曜日午後  
日曜日、祝祭日

TOPICS

目の前にある壁を越えて転職する方法



記事の内容はこちらから▲

「令和2年(2020年)衛生行政報告例(就業医療関係者)の概況」では、就業する看護師の数は1,280,911人います。自身のライフスタイルの変化やキャリアアップ、環境の変化を求めなどを理由に転職を1度は考えたことはありませんか? 現在、看護師の働き方は多種多様。なかなか転職を行動に移すことができずにいる人も多いのではないのでしょうか? ここでは、多くの人がどんなことがきっかけで転職したいと思うのか、転職をしようと思ったときどんなことが不安になって行動ができないのか、そして、それらを解消するためにどうしたらいいのかを詳しく解説していきます。

- 記事目次
- 転職をしようと思ったきっかけ?
- 転職のときに悩む理由は?その解消法について
- 転職を行動に移すための心構え
- 最後に

TOPICS

声がかかる「音声障害」とは? 声の異常の原因と治療法を発声の仕組みから解説



記事の内容はこちらから▲

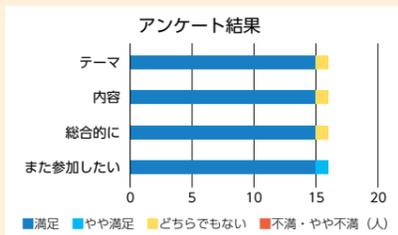
「かぜを引いてから声がかかるようになった」「声がかれて、うまく歌えない」 このように悩んでいませんか。声がかかる原因がわからずお困りかもしれません。声がかかるのは音声障害です。本記事では「音声障害とは」「音声障害の治療法」「音声障害の種類」を紹介いたします。音声障害の種類ごとに原因と治療法を解説するので、声がかれて困っている方はぜひ参考してみてください。

- 記事目次
- 音声障害とは
- 音声に影響を与える要因
- 音声障害の治療法
- 音声障害の種類
- 声の乱用に気をつけて音声障害を予防しよう

第7回医療総合支援セミナー 開催報告

2023年10月28日、第7回目のセミナーを開催いたしました。新型コロナウイルスは以前ほどの脅威ではなくなりつつありますが、これまで通り十分な感染対策を講じた会場で行いました。講師は2回目のご登場となる、株式会社 Indigo Blue代表取締役の柴田励司様をお招きして、『優秀なプレイヤーは、なぜ優秀なマネージャーになれないのか?』をテーマにご講演頂きました。セミナーに参加いただいた皆様からは、『大変勉強になりました。リーダーシップの

発揮の仕方が理解できたように思います』『リーダーの在り方を今一度見つめ直してみたいと思いました』『再度セミナーをお願いします。今育てている人材と一緒に参加します』等の感想をいただき、盛況のうちに終了しました。



このように全ての項目で90%以上の方に概ね満足頂きました。第8回の開催も、より多くのニーズに沿った、皆様のお役に立てるセミナーを企画してまいります。詳細が決まりましたらご案内させていただきますので、ぜひご参加くださいませ。



賛助 会員紹介

事業へ賛同していただいた会員の皆様をご紹介します

アナリーズ・コーポレーション (山田会計事務所マーケティング事業部)

- コンテンツ・マーケティング
  - ・貴院と患者さんをスマホでつなぐ!
  - ・患者さんに訴求する貴院の特色を検討
  - ・貴院の特色をデジタル広告化
  - ・ホームページのアクセスログ解析
- セカンド会計顧問
  - ・決算申告は現行の会計事務所のままで
  - ・月次経営決算書による オンライン経営診断
  - ・給与計算等のアウトソーシング受託



https://hp-keiei-shien.net/  
TEL:058-215-1855 FAX:058-215-1833  
〒502-0082 岐阜県岐阜市長良東2-37 RSDビル3階 北号室

搬出も重要な役割です。

・本日は1人の患者に10分かかりますが、ヘリポートが入れれば1分で10人救助できます。  
・救急搬送がアワシった場合、搬送現場への患者搬送が必要になります。  
・「救急搬送の受入」のみがヘリポートの役割ではありません。

ヘリポートの役割を解説する方は必読!

新刊『新・ヘリポートの造り方』 木下 耕也 著

発行 エアロアシリディー株式会社  
編集 株式会社山田会計事務所  
印刷 株式会社山田会計事務所  
4刷 2023.10.15発行 定価3000円(税別) www.aird.co.jp ISBN978-4-9462-4681-0

ナチュラルミネラルウォーター 機能水・清涼飲料水の製造販売

DMC 奥長良川名水株式会社  
岐阜県関市河津東原291番地 TEL:0581-58-9011 FAX:0581-58-9010  
☎0120-320-355 奥長良川名水 検索  
受付時間/24:30~17:30(土・日・祝日も可)

SUZUKI GROUP

企画・制作 グラフィックデザイン カラーマネージメント プリプレス 販サポート  
印刷通販 TIA WEB制作 オンデマンド印刷 映像・動画制作・中継 商業写真撮影

岐阜製版株式会社  
〒502-0822 岐阜県岐阜市福田町1丁目30番地  
TEL.058-233-1313 FAX.058-233-6248

事業内容 企画・編集・デザイン・組版・Webサイト  
撮影・動画制作・製版・印刷製本・物流

印刷を通じて 社会に役立ちたい。

周年事業 出版印刷 Gifu ebooks

社史・記念誌やロゴなど 周年記念事業をトータルサポート。  
教科書、参考書、社史、辞書など 様々な印刷・出版をサポートする。出版印刷のプロフェッショナル。  
岐阜県+37自治体と契約中! 岐阜県に特化した電子書籍ポータルサイトを運営。

本 社 岐阜県本巣郡北方町北方148-1  
TEL.058-324-2111(4) FAX.058-324-2119  
東京営業所 東京都千代田区千代田1-4-9 松島ビル4階  
TEL.03-3293-8441 FAX.03-3295-0806

～快適な暮らしをトータルプロデュース～

TOHYAMA 株式会社 トオヤマ

「清潔」と「健康」のプロフェッショナルとして、未来を支え続けます。

- ・リースキン事業
- ・調剤薬局事業
- ・介護用品レンタル事業
- ・病院関連事業
- ・アクアクラ事業
- ・ハウスケア事業
- ・寝具レンタル・リネンサプライ事業

株式会社 トーカイ  
〒500-8828 岐阜市若宮町9丁目16番地  
TEL 058-263-5111 <代表>

ソフトウェア開発 モバイルアプリ開発 webサイト制作

株式会社パケモ pakemo

愛知県名古屋市中区栄1丁目14-13  
アーク新栄ビルディング8F  
☎052-325-6789  
http://pakemo.jp

会員募集

当法人では、医療に関わるあらゆる方の悩みや不安を解決するための支援を行っています。医療会員、またこの活動に賛同する賛助会員を募集中です。是非ご入会をお待ちしております。

現在の医療会員に対する特典

- ①機関誌に掲載
- ②ホームページ掲載
- ③ホームページ作成支援
- ④セミナー
- ⑤各研修・講習

問い合わせ先  
一般社団法人医療総合支援機構 事務局  
MAIL: info@iryousougoushien.jp  
TEL:080-2658-4749 FAX:058-230-6451

我友人杉田玄白所譯之解體新書成其令予寫之圖焉  
夫紅毛之畫也至矣哉如余不佞者非敢所企及雖然又不可  
圖怨及朋友嗚呼與買怨于同胞寧流臭於千載邪四方君

子幸恕也

東羽秋田藩小田野直武

